

利用者の皆様へ



従来型バスカードとICカードの併用について

本年1月より、松園営業所の一部車両について従来型バスカード機器を撤去し、新たにICカード機器を搭載しております。この結果、同一路線において、従来型バスカード車両とICカード型車両が混在することにより、利用者の方より「不便だ」との声が寄せられております。

これにつきまして、当社の実情と立場を下記のとおり説明させていただきます。

記

1. ICカード導入の経緯

今回のICカード化については、もちろん利用者の利便性向上を図ることが目的ですが、それと同時に、従来型の磁気カードシステムが耐用年数を迎えつつあることも大きな要因となっております。

従来のバスカード機器において読み込みエラーなどが多発し、サービス品質の維持が事実上、困難となる一方で、日本国内において磁気カードの製造メーカーが急速に減少し、代替はもちろんのこと、既存機器の修理も非常に困難となっております。

こうした状況を踏まえ、当社では2016年頃よりICカード導入に向け、関係各方面に働きかけを開始し、ようやく昨年、一部路線において本格的なICカード化を実現するに至ったものであります。

2. ICカード導入へのコストとコロナ禍での当社経営状況

しかしながら、全面的なICカード化には、車載器ならびに販売端末、営業所端末に多額の投資が必要であり、一部、国並びに自治体からの補助をいただいておりますが、相応の自己資金も捻出しないとイケない状況にあります。

一方、当社の経営状況は一昨年から継続するコロナ禍の影響を強く受けており、2021年3月期は7億円を超える営業赤字、3億円を超える最終赤字を計上しており、2022年3月期も燃料費高騰などの追い打ちを受け、同様の厳しい決算が予想されます。

このため、路線バス事業の継続と企業体力に見合った設備投資とのギリギリのバランスを考慮して、漸進的かつ段階的なIC機器導入と拡大となっているものであります。

利用者の皆様のご不便については大変申し訳なく思っておりますが、何卒、皆様方のご理解をお願い申し上げます。

お問い合わせ先：総務部 本田、浦部、鈴木

TEL：019-604-1552